

一般国道 183 号鍵掛峠道路法面对策検討会（第 2 回） 議事概要

1. 日時 : 令和 5 年 10 月 6 日（金） 13:00~15:35
2. 場所 : 国土交通省中国地方整備局 三次河川国道事務所 2F 第 1, 2 会議室
3. 出席者
 - ◎森脇 武夫 広島工業大学 工学部 環境土木工学科 教授
 - 嶋 俊郎 広島大学 大学院 工学研究科 教授
 - 西村 強 鳥取大学 大学院 工学研究科 教授 (Web 出席)
 - 山本 俊彦 国土交通省中国地方整備局道路部 特定道路工事対策官
※敬称略 ◎会長
- <事務局>
国土交通省中国地方整備局 三次河川国道事務所
4. 議事
 - 法面の崩落・変状箇所の対策工法
 - 今後施工予定箇所の対策工法
5. 議事概要
 - 法面对策工法は、法面崩壊の発生形態を分類、モデル化し、対応する工法の抽出を行った。
 - 崩落・変状箇所の対策工法は、その発生要因を踏まえて工法の選定を行った。
 - 今後施工予定箇所の対策工法は、地形や地質状況等を確認し、工法の選定を行った。

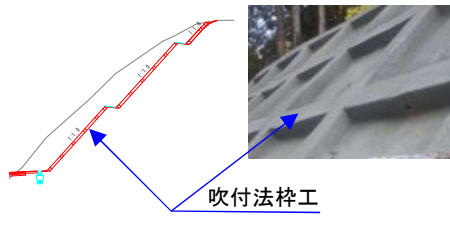
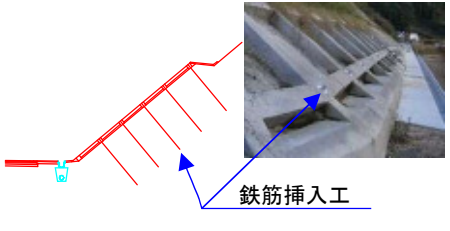
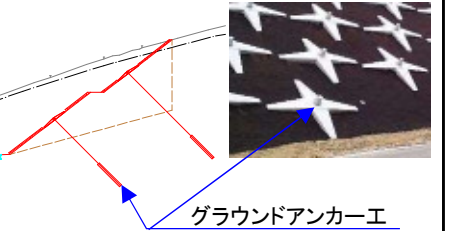
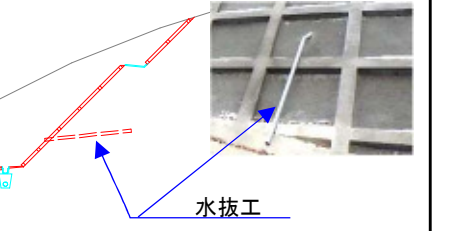
検討会の状況



法面对策工法の概要

○法面崩壊の発生形態、それらに対応する対策方針を整理し、法面对策工法を選定した。

<法面の崩壊形態と対策工法>

分類	表面浸食、小崩落	大規模崩落 地すべり性崩壊		浸透水による抵抗力の低下
崩壊の発生形態	掘削による応力開放に伴い法面表層に亀裂が発達。亀裂から雨水等が浸透し、乾湿が繰り返されることにより、土塊や岩が細かくばらばらになり表層浸食や小崩落が発生。	掘削による応力開放に伴い法面表層に亀裂が発達。亀裂から雨水等が浸透し、乾湿が繰り返されることにより、土塊や岩が細かくばらばらになり地山強度の低下。主に泥岩および蛇紋岩の法面において、亀裂から雨水等が浸透し、乾湿の繰り返しによる深部の風化により、地山の強度低下し不安定土塊が滑動。		斜面背後からの水の供給により地下水位の上昇と間隙水圧の増加によるすべり抵抗力の低下。
対策方針	法面表層からの雨水の浸入抑制 雨水等による法面の浸食抑制	すべり崩落の抑止		法面内の地下水の排除
対策工法	吹付法砕工(密閉型)	鉄筋挿入工 ※想定する滑り面の深さにより工法選定	グラウンドアンカー工 ※想定する滑り面の深さにより工法選定	水抜き工
(イメージ)				

<法面对策箇所位置図>

